

[illegible]

命令航路に對し更に總督府の委託により、南洋各地を巡視せしめ、總督府は之に對し、幾分の補助を與ふる事となりたり（東京朝報）

○簡易保險 簡易保險（英山特）  
十月一日より施行す可き朝鮮、臺灣及び各屬地にもよしとせしむ

上を特別會員に、十圓以上を普通會員に、十圓未満の願出者を賛助會員とするの制を設け奉獻申込期は大正五

平壤  
▲畜産組合總會 平壤に藏入輸出共各二萬三千零三十八頭  
▲畜産組合にては九日午後 八時より築國俱樂部に總會を開きた  
此れ四年度繰越金其他自然

等科 月額圓 月額六十錢  
當科 同十錢 同三十錢

理者任命 尙州郡咸昌 學校組  
ては過般管理者として推薦せら  
れ、  
憶起當年百萬師。虎龍相闢藩陽隱。山  
河震動賊婚嫁。隊伍縱橫羽檄馳。雲字  
右の  
は爾

陸軍記念日所感 金陵 大垣 丈夫

田中清太郎  
(通稱廣吉)  
名今回都合上解雇致候に就て  
當店と一切關係無之候也  
五年三月十日

田中清太郎  
(通稱廣吉)  
名今回都合上解雇致候に就て  
當店と一切關係無之候也  
五年三月十日



寺内總督懇篤なる訓示

湧くが如き合併大相撲の  
力士の一行五百（さ）阪の天地に一傑（か）觀を呈（てい）

八十餘名は九月午後十二時二十分、  
此の中刀士は四百五十名であるが、南  
地、五花、新、新町、堀江の  
各遊廓から用ひに出掛けた美形連  
が約五百名、それに大阪相撲協會取  
組朝日山四郎右衛門下役員の面々  
には列車到着の一時に御下見の面々  
はラットホームに絶えず待候へる、驛  
前の大廣場から天王寺公園まで道筋  
の二側は人の黒山を築いて身動きも  
ならねと云ふ景況、間もなく列車が  
到着して襤褸大關の面々以下下り  
と下りに及ぶと彼方此方で種々の検  
査が交換される一行は一旦驛前の茶  
所、

前氣の如き實に目覚ましきものあり  
十日間の興業に於ける上座席の如き  
は大刀山、風、大鶴は勿論大阪方の  
人氣力士大鶴、小桑、松の音の會  
入及び他の團體見物にて殆ど全金  
部賣出の大盛況であるが斯く盛況を呈  
するは今回の合併相撲が普通一過の  
花相撲とは趣を異にし大坂取組の  
りては萬丈の氣を吐くべき情勢に  
あり殊に三權總二大關の大腕を捲へ  
たる大鶴は今回の成績に依りて

▲横綱問題の決定すべき實  
に乃士一代の時の士振なれば昨今の  
觀衆常設席に於ける申合せの如き不  
満所にも見る能はざる程の熱烈を極  
め

場所全部賣切

車に乗込み、横濱大橋は自動車を通ぬ  
 華々しく二時頃天王寺公園の開遊會  
 場に絶だんぞつ  
 ▲設備成る  
 場所全部賣切  
 凄じい申合せ  
 好角家の血を湧かすべき東西合衆大  
 博闘演習を觀覽してゐる寺内總督、井口軍司令官、  
 必勝の自信を有するものゝ如くな  
 るが目標とされる三權總大開中何  
 れに黒星を敗すべきや東京大錦ま  
 た大阪出身の關係士人氣船の上に  
 の裡に包まれ居れり兎に角今回の合  
 併相撲の結果や如何查明けど共に更  
 に一層全市の人氣を沸騰せしむるな  
 るべし大阪特撰

記念日當日龍山練兵場の

●  
**壯烈なる戦闘演習**  
●

記念日當日龍山練兵場の壯觀

十月午後一時より龍山練兵場に於て一大隊長工藤少佐指揮の下に歩兵二  
陸軍記念日戰闘演習は最も壯烈に舉  
行せらる北軍は歩兵第二十五聯隊第一隊を以て午後一時練兵場北端に達し

大豺を捕

相撲は愈々二三日の後に迫り来り  
 ▲龍襲虎搏の壯觀を呈すべ  
 き千日前寒手の相撲場も全部役師を  
 充てし旗幟幾百旗立て連ねられ南大  
 死したれば之を遠くから同里牛の病  
 忠は鎮川郡輝山面五里里吳龍賢とい  
 う農夫は昨年十一月頃備養の斯牛を

●大豺を捕獲す  
 加茂



持ち出す

の八日午後八時、山崎町金田坂城下  
の公立商業学校より出火し、校舎一  
連に附近の

鮮人家屋二十餘俣  
焼失したる事は既報の通りなるが、  
出火の原因に就ては目下取調中にて  
不明なるも暫きに依れば職員事務  
室又は小総務局より出火したる概  
にしてストロブの火氣の残り居たる  
ものならんとも言ひ又一説にはスト  
ブ附近に置きたる化粧用の藥品が  
発したるにはあらざるかとも云ひ  
を傳れども明ぜず且目下取調中な  
り候様なる新士徳平氏の宅迄は全  
く焼失したる

一日大朝の東京外一週刊にて空権  
外語誌を密送して押さ廻る所を木町  
署の巡査に取押へらる

樹木を盗伐す 諸縣警視  
面御十里居住の李錦光さん反ひ長  
根三郎の兩名は三月四日夜廣里所在  
の國有保安林より松の木一本を盗伐  
し銚路署に引致さる

借家研究(四)

賃の問題  
不拂と新判決例

子富當  
と富當  
長富當  
そ富當  
の富當  
借し富當  
さい富當  
に富當  
費富當

事として同校長は、女

附たりたる西洋館なるが火事よ  
 ず與人の聲に驚き、庭に駆け出で  
 る。時は早や職員の事務室は火煙を  
 含め、黒潮猛々たる渦巻き居たが、皆  
 の事務室に接近せる校長室には、勅諭  
 の本を保存せる事とて、同校長は、安  
 んぶを破棄して室内に隠れ、且無事  
 の本を提出したるが此れが爲校長は

京城には現在敷金制度といふもの  
 ない、どんなに大きな家でも然ら  
 ず、そのへり大抵前家賃といふ事になつ  
 てる、これが在來の習慣だ。此の前  
 家賃制度は

◆住宅向の貸家に  
 は大抵行はれてゐるけれども、その  
 他には實際は行はれてゐないさうだ  
 京城には借家プロともいふべき、五

火傷を負ひ

頭部に火傷を負ひ  
平怒を破損する際南方の手摺を  
不幸中の幸なりと目高に就り

一聞を取つた上更に今度付し前の  
家主の方を調へてみる、家賃の不拂  
ひ等がなく大丈夫だと見れば

◆一月以内に立退  
きを要求した場合には必ず予明渡す  
と言ふ條件の下に契約する。その代  
り一日店子と大家さんとの様な關係が  
開始される。

町日本蓄音器商會

様な事があつた、昔しから店  
 家といふ位でその關係は頗る  
 ものであつて、露談沙汰にす  
 事はなかつたのだが今日では  
 さう言へば行かぬ  
 もその多くは民事に廻つたも  
 刑事の問題になつたのは珍ら  
 最初から家賃を拂はぬ意思で  
 たものは詐欺取財と認めると  
 決はこれが例となれば家主に  
 常に損害である。次に京城  
 じめ賃借權を認定するか又は  
 契約で  
 長期の契約を結


計が悪く、建方の粗  
賃家は随分多いけれ

ある。大きな家主になる家  
 望に就いては直ぐに取掛るも  
 るが中には言を左右にしてこ  
 じないものが多いさうだ。そ  
 京都の借家の一般に内地のそ  
 載して設計が悪く、建方の粗  
 である、貸家は随分多いけれ

それらの階級

移轉 本町二丁目  
店舖逐日狹隘を告  
二丁目二十八番

座號書店の移轉 本町二丁目  
 座號書店は店舖逐日狹隘を告  
 る事となり十三日より引越  
 五日より營業を開始す可しと  
 を以て本町一丁目二十八番戸



酒清等優

廣 告  
 菓 子 原 料 一 式  
 製 菓 器 具  
 福 西 製 粉 所  
 電 話 三 二 六 番  
 振 替 京 城 八 〇 〇 番

京 城 永 樂 町 二 丁 目  
 發 賣 元  
 本 莊 酒 店  
 電 話 六 五 四 番  
 振 替 京 城 〇 二 六 番



素より當局此方面にけ充分の注意を拂つてゐるに相違ない。次に今一つの要求は電車建設である。

▼電鐵事業

清津、羅南、鐵城北鮮の三都市は僅十里弱の間に散在した市街であるから將來の發達を圖るには是等の市街を簡易に連絡する交通機關が必

鐵路署に屈出でたり同盟にては警衛師出張視せしに死後三口間位を経過したる男嬰の屍體を判明せるが都以下を存じ未だ腐蝕するに至らる生々しきものにて左足に朝鮮足履を穿ち居り多分埋葬不完全の爲右の仕業に及びたるものならんと

盗取し入質に行く處を本町屋の巡査に  
 に捕まる  
 國賊の黃身群  
 例の通り下町に於て無類の  
 寸草も下町に於て無類の  
 取り立てて水船を去り黄  
 身群を法へ出す。黄身群  
 腰にたがひ少し下ろしに  
 したとき誰かに、腕を如て斬く傾く  
 丁懸するに果流す

人気が稀れは一  
小勢に導かんとする一洗  
業者者は比較的持品手廻るごとと  
紙幣の流通を今日迄使用せるの原  
料として、戦時中の特産品の供給需  
求に資するものとして、紙幣の原料  
として、戦時中の特産品の供給需  
求に資するものとして、紙幣の原料  
として、戦時中の特産品の供給需  
求に資するものとして、紙幣の原料

同大主大豆  
九兩九、十錢  
十四五、三十錢

京端正米  
賈人は附口安に手放さざる人へ入  
りて然安樂様なり今日見常しより  
は勢力上物九十刻至勢盛なる上  
昨午の米九割八十刻至勢盛なる  
もの物は此邊直向にて減なり今  
に附けは屬科通面への場合あな  
れば糯米口には採算上真高賣出  
なり又糖に附けたり目下相和正  
便に同様樂様なり目下相和正  
味帥力毛良き物三錢三厘動土物  
三錢有毛良き物三錢三厘動土物

[illegible]

升 賣  
 上白米 十三兩五錢  
 上白米 十三兩  
 上白米 六兩五十錢

更に現在より漸次を来んものあり。  
 株の賣買の利益此の如し  
 の如く金貨を以上と利益を得るべき大資本の勢力を以て之に賣り、買ひ、並にして其利益を得るものなり。然るに其利益を得る方法を、株の賣買と、近來株券の發行と、一に結合せしむるものあり。假りに一拾萬圓を以て十株の株券を發行し、更に二百圓の利益を得る者を買ひ、更に二百圓の利益を得るものである。株の賣買の利益の大なるの如し。  
 株の相場をなすとは如何  
 株の賣買の一段階涉りて著にして手  
 續の如きなり。一、賣買の仕度。二、賣買の仕度。三、賣買の仕度。四、賣買の仕度。五、賣買の仕度。六、賣買の仕度。七、賣買の仕度。八、賣買の仕度。九、賣買の仕度。十、賣買の仕度。十一、賣買の仕度。十二、賣買の仕度。十三、賣買の仕度。十四、賣買の仕度。十五、賣買の仕度。十六、賣買の仕度。十七、賣買の仕度。十八、賣買の仕度。十九、賣買の仕度。二十、賣買の仕度。二十一、賣買の仕度。二十二、賣買の仕度。二十三、賣買の仕度。二十四、賣買の仕度。二十五、賣買の仕度。二十六、賣買の仕度。二十七、賣買の仕度。二十八、賣買の仕度。二十九、賣買の仕度。三十、賣買の仕度。三十一、賣買の仕度。三十二、賣買の仕度。三十三、賣買の仕度。三十四、賣買の仕度。三十五、賣買の仕度。三十六、賣買の仕度。三十七、賣買の仕度。三十八、賣買の仕度。三十九、賣買の仕度。四十、賣買の仕度。四十一、賣買の仕度。四十二、賣買の仕度。四十三、賣買の仕度。四十四、賣買の仕度。四十五、賣買の仕度。四十六、賣買の仕度。四十七、賣買の仕度。四十八、賣買の仕度。四十九、賣買の仕度。五十、賣買の仕度。五十一、賣買の仕度。五十二、賣買の仕度。五十三、賣買の仕度。五十四、賣買の仕度。五十五、賣買の仕度。五十六、賣買の仕度。五十七、賣買の仕度。五十八、賣買の仕度。五十九、賣買の仕度。六十、賣買の仕度。六十一、賣買の仕度。六十二、賣買の仕度。六十三、賣買の仕度。六十四、賣買の仕度。六十五、賣買の仕度。六十六、賣買の仕度。六十七、賣買の仕度。六十八、賣買の仕度。六十九、賣買の仕度。七十、賣買の仕度。七十一、賣買の仕度。七十二、賣買の仕度。七十三、賣買の仕度。七十四、賣買の仕度。七十五、賣買の仕度。七十六、賣買の仕度。七十七、賣買の仕度。七十八、賣買の仕度。七十九、賣買の仕度。八十、賣買の仕度。八十一、賣買の仕度。八十二、賣買の仕度。八十三、賣買の仕度。八十四、賣買の仕度。八十五、賣買の仕度。八十六、賣買の仕度。八十七、賣買の仕度。八十八、賣買の仕度。八十九、賣買の仕度。九十、賣買の仕度。九十一、賣買の仕度。九十二、賣買の仕度。九十三、賣買の仕度。九十四、賣買の仕度。九十五、賣買の仕度。九十六、賣買の仕度。九十七、賣買の仕度。九十八、賣買の仕度。九十九、賣買の仕度。一百、賣買の仕度。

特約店 京城南大馬通二新井藥房



紋彌の忠臣

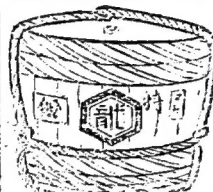
A black and white illustration of a woman in traditional Japanese clothing, possibly a kimono, sitting on a patterned mat. She is looking down at a small object in her hands. Behind her is a framed picture on the wall, depicting a landscape with a mountain and a river. The style is reminiscent of a woodblock print or a traditional Japanese painting.

お聞きなさい

▲前途りは普通事 在佛遊遠野男爵の滞信によると日本では彼の、イル・ス氏の通稱飛行には大に人心を奮起させたものゝ如く、なれば佛國邊にては殆んど雄俊となり誰でもやり得る事として最早前途り飛行も普通事となつて居るに似たり。

▲高知に定規無し 終身研究家の治田龍一郎氏が東京官務上を退散した處に、種々の芳香を散らし、

京



日本會社 油醬株式會社 出張所

に依つては、源朝の嫡子になつたのは源平氏の脂で其の頃の武將には其れく定紋があつたが其種族たる源平二氏には紋がなくつたらしい。源氏の龍胎、平氏の嫡は共に記録がないから決定する事が出来なかつた。

かゝる疑念を解した五方士。千葉縣夷隅郡大宮多町の興行を打擧げた力士小堀一行中の把の山内四名は五日午後三時二十分大宮多町の人事を経て警捕

に雲遊も途中初音橋地先、突然一匹の鯨風に襲はれ人事は吹飛されて花の山は前副都外殿前所に倒傷した。

△古切手が勝つた。古切手は近來五割方勝つては、明治六年の廿錢切手は現銀二千圓に賣買、其他十圓、百圓の物も澤山あつて明治四年始めて日本に切手と云ふものが出来て以來今日までのものを全部を蒐集して居るを総に一萬圓近くの價値があるさうだ。

三月二十二日九星  
舊二月九日戌申  
本命六白乾取佛滅

皮膚科

藤佐

院醫

皮膚病 瘡毒 疥癬 生腫 膀胱病 生殖器病

入院隨意診察夜九時迄

日曜祭日午後二時迄

機能停止

町治明城京

電話一七三七番


院醫藤佐

院醫藤佐

[illegible][illegible]

▲廣告▼

# 目ニ見ヘテ



シニマズイタマス  
井上博子

眼痛、不眠、充血、流涙、腫れ、痒み等の目の病に  
効くからロート目薬は消した病と、下瞼の病を新案の型眼薬を  
添へてある



**ロート**  
目薬

本舖東京大阪山田歩民藥房

[illegible]

貞觀政要

卷首錄倉代時古鈔卷子本政觀寫真石版挿入

史臣吳兢が四十門に分ちて類編したるものにして古來爲政者の龜鑑として最も推重せらるる本書は我邦歷代聖天子の御講讀あらざられたるは固より先帝陛下は元田永孚先生より本書の進講を聞召され又た昭憲皇太后陛下も本書の素讀を受けさせ玉ひたるやに承る最近今上陛下宮内省御用掛小牧昌業氏を宮中に召されて屢々本書の進講を聞召さるる程なれば以て本書の内容と實質とを察知し得可き也

假名貞觀政要は尼將軍平政子が翻譯方を當時の碩學菅原爲長卿に託し爲長卿自ら之を意譯したるものにして成貞業德富文庫秘藏の正保版を其儘活版に附したるもの也卷首に於て蘇峰學人の貞觀政要に就くなる長文あり本書の來歴と考證とを解説し本書の價值を諒會せしむ政治家教育家は勿論若くも政教に志ある人士の必ず一讀す可き良書也

定價 金壹圓  
金八錢  
銅錢

取次所  
振替東京三〇〇番  
京城日報社代理部

消北と  
毒し

仁丹

金  
心反つて小  
(ナボレ  
オンレ)

多量鏡をとり色白くなるゲン液

小瓶  
二十銭  
大瓶  
四十銭

の元素色黒く顔赤く顔日やけおしろい、やけ、アレ、予防キメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子を、  
品店に販賣、近所に品切の時、代金火の郵便切手を送付、送品、東京和泉橋際ゲン液、本館、松本薬店

本館、松本薬店

生々とした

素顔の美さ

お化粧した跡が見えず、白粉分がなくていつもホンノリと色白く生々とした色艶を保ち、お化粧した方と比べても見劣せぬほど美しく、老いたる人まで生れ變つたやうに若やく新化粧液は

ホンノリと色白くなる

新しい美容液

レイトフーバ

男女共に最適美容料

化粧品本舗  
東京 平尾 賛平

[illegible]

<p>三浦丸 三月十七日 釜山發</p> <p>海州丸 三月十九日 利釜山發</p> <p>純益丸 三月廿一日 日本行</p> <p>天丸 三月廿三日 日本發</p>	<p>江陽丸 三月廿四日 釜山發</p> <p>永興丸 三月廿八日 元山發</p> <p>忠清丸 三月三十日 元山發</p> <p>平壤丸 四月一日 元山發</p> <p>豐城丸 三月十八日 元山發</p> <p>錦昌丸 三月二十日 元山發</p> <p>金澤丸 三月廿三日 釜山發</p> <p>京義丸 三月廿七日 釜山發</p> <p>黃海道丸 三月三十日 釜山發</p> <p>咸鏡道丸 三月三十一日 釜山發</p>
---	---

[illegible]







四川送兵新法  
分廳長に狂する事に

左の如し

るが、五月八日、京都地方裁判合議公判に附せら  
れ、控訴を以て上告し、六月九日、東京高等法院に  
方々招いたるを通知し、午前一時頃直下精神病  
院に入居せられた。

敵を脱逃して之を價し居き 同人に對し屍骸が  
 金貨を抛擲すべし 又是等の行為

片岡健作の秀人執たる爲、東京地方佐に  
 蘭月の身分をとりたるを、蘭月が、  
 月十九日原洲支館にて、蘭役、草子、蘭月の列、  
 たりたるも服せず、京坂五、六、七、八、九、







